



# 福島南ロータリークラブ

基本方針:ロータリーに輝きを

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室  
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878  
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30  
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-523-0375  
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



- 会長：高橋勇雄 ■幹事：吉田和義
- 会報委員長：伊藤弘子 ■副委員長：笠 雅樹
- 委員：丹治洋子 赤間浩一 菅野清敬 菊地和宏 三瓶弘樹

## 第31回例会

平成27年3月11日(水) サンパレス福島

■会員/73名 ■出席/53名 ■出席率/72.60% ■メイクアップ20名 ■修正/73名 ■修正率/100.0%

## 本日のプログラム

- 12:29 黙祷
- 12:30 開会点鐘
- ロータリーソング(我らの生業)
- 四つのテスト
- 来訪者紹介と会長挨拶
- PETS 報告
- 食事
- 幹事報告
- ゲストスピーチ
- 御礼の言葉
- 13:30 閉会点鐘

## 本日のソング 『我らの生業』

我らの生業さまざまなれど  
集いて囀る心は一つ  
求むるところは平和親睦  
力むるところは向上奉仕  
おゝロータリアン  
我らの集い



## ◆会長あいさつ◆



### 高橋 勇雄 会長

皆さん今日は、福島民報社論説委員長佐藤賢一様をお客様としてお招きしております。佐藤様には後ほど東日本大震災後の報道の立場からスピーチを頂く事になっております。宜しくお願ひ致します。4年前の3月11日に当たる今日は、東日本大震災という記憶から決して消す事の出来ない日にあたります。南クラブはこの年、4つの大きな出来事を迎えた年でもありました。1つ目は、当クラブ初の地区ガバナとして大橋廣治がガバナ年度である事、2つ目は、黒羽年度が創立40周年の記念の年度である事、3つ目は、事務局のベテラン園部さんから新人の三浦さんへ変わった事。4つ目に、40周年記念式典を間近に控えた矢先の今日という3月11日14:46、M9、福島市震度5強が発生、当日だけで震度7が1回、6が1回、5が4回、4が23回、翌日の12日でも震度4以上が33回、加えて15:36福島原発1号機が最初の爆発を起こし、かつて経験した事の無い大惨事へと突き進み、62キロ離れた福島市の放射線量も14日に0.04μSv、15日には24、16日に20という大惨事へ向かう事となりました。ガバナ事務所では、この日を境に、大橋がガバナや地区役員を中心に国内外からの支援や対応に日夜追われ大変なご苦労があったと、言葉では表せない感謝の気持ちで一杯になります。一方例会場パレスはもとより、どこの施設も被災により会場確保は困難、会員自らも震災対応に追われ、3月の14・16・23・30日と4回連続例会を中止、苦渋の選択でした。4月に入り、会場も青少年会館を確保、4月6日に5週間ぶりに再開。この日は、会員一人一人から近況報告を伺う形となりました。青少年会館での例会は3回続き、本会場であるパレスもようやく修復。4月27日待望の例会となり、渡辺雅浩さんの入会式という久しぶりの明るい話題が有りました。そして40周年の記念式典も4月6日から6月22日に規模を縮小し、祝いの文字を封印し粛々と執り行う事が出来ました。あれだけの震災にも関わらず、影響を受けての退会者は僅かに3名、うち1人は後に再入会、実質2名の退会者で済んだ事は、不幸中の幸いであるとともに、ロータリーである事の強い絆と信念を

覚えずにはられません。なお今朝の新聞で、地震の発生頻度がこの2年間で震災前の100倍という記事が載っており、十分な備えと対応が望まれます。先の見えない復興ではありますが、この日を記念し会長挨拶と致します。

## ◆会長エレクト研修会 PETS 報告◆



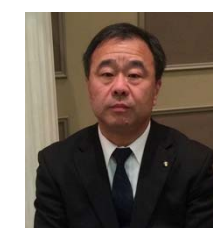
### 菅原 節子 会長エレクト

2015-16年度の会長エレクト研修会 PETS は、去る3月7日8日、磐梯熱海温泉のホテル華の湯で開催されました。RI 第2530地区の野崎がガバナを始め、酒井がガバナエレクト、パストガバナ、地区役員、各地区の次期ガバナ補佐、会長エレクト等134名が参加して行われました。第1セッションでは酒井がガバナエレクトよりスリランカ初のプレジデント RI 会長のテーマ「世界へのプレゼントになろう」の説明がありました。地位や身の上に関わらず、才能・知識・能力・努力・そして献身と熱意など、誰でも与えることのできる何かを持っているはず。私達はロータリーを通じて、これらを世界にプレゼントすることで、誰かの人生にそして世界に真の変化を起こすことができるはずだと紹介。プレジデント会長は身長が185cmあり、職業は印刷・包装等で、ティパックのタと小袋の生産量は世界一とのこと、次年度のマークやバッジの色彩も大変明るく鮮やかです。続いて第2530地区の地区目標「原点回帰」について説明があり、基本に立ち返り足元を見つめ直し、次に進むという目標についてお話がありました。

1. 会員基盤の向上 拡大  
(衛星クラブ、インターアクト、ロータリーアクトの新設)
2. ロータリー財団への貢献
3. 公共イメージと認知度の向上
4. 米山記念奨学会への協力

等、地区目標について説明がありました。さらに野崎がガバナより「クラブ会長の役割と責務」について、ご指導頂きました。第2セッションでは各委員会の委員長、クラブ奉仕委員会、職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、青少年奉仕委員会の五代奉仕委員会について指導がありました。2日目は、次期地区運営委員会委員長の阿久津先生とロータリー財団委員長・米山記念奨学会委員長など、13名の皆様のお話とご指導がございました。次年度は新しく地区運営委員会(戦略計画)、地区IT委員会、地区学友会会が出来ます。さらに拡大委員会が独立した委員会になります。66クラブの中で、女性の会長は4人でしたが、福島しんたつRCの会長エレクトは1歳のお子さんを連れての参加で、時々赤ちゃんの泣き声が聞こえる中での研修会で、PETS も新しい時代に突入したのかなと思いました。次年度に向けて、気持ちも新たに学ぶことの多い会長エレクト研修会でした。福島南RCから、次期地区研修委員長の野地さんが参加しました。以上PETS報告とさせていただきます。

## ◆ゲストスピーチ◆



### 福島民報社論説委員長

### 佐藤 研一 様

本日で東日本大震災から丸4年となります。福島県は大震災と、それに続く東京電力福島第一原発事故で今も非常時にあります。原発の汚染水は漏れ続け、炉内に溶け落ちた

燃料がどこにどのような状況であるかもわかりません。県内外に避難している人はまだ11万9000人近くいます。一方で帰還に向けた動きも出てきています。影の部分と明るい兆しが見え始めた部分があります。両方を直視しながら、気持ちは前向きに、一歩でも二歩でも復興を前に進めていくことが大事だと思います。福島民報社も当初は大変な状況でした。地震で印刷工場が被害を受け、原発事故、津波の危機に瀕した支局もありました。そんな中で社の総力を挙げて新聞発行を続け、原発の状況など大きな動きを伝えるとともに県民に身近な生活情報、役に立つ情報の発信に努めました。震災と原発事故は悲しい出来事でしたが、県民が必要とする情報を細かく提供し続けたことで、新聞に対する評価、信頼を新たにしてもらった部分があります。県民に寄り添った報道を続けるのが福島民報社の使命です。仮設住宅には今も2万4000人が暮らし、心身の健康を崩して命を落とす人が後を絶ちません。本県の場合、津波や地震で犠牲になった直接死より、その後の長引く避難生活の中で無くなる災害関連死の人数が多くなっています。福島民報は、この災害関連死を「原発事故関連死」という言葉で表現し、国と東電の様々な不条理を訴えるキャンペーンを展開しています。原発事故関連死という新たな定義を打ち出したことと、一連の報道が認められ、新聞協会賞を受賞しました。受賞を、これからは福島県民のためにしっかりと報道を続けよという激励と受け止め、一層県民に寄り添った報道をしていきます。被災した人たちの怒り、悲しみ、苦しみを常に心に刻み、本県の主張を伝えていくとともに、常磐自動車道の全線開通、ふくしま防災キャンペーンなど、光が感じられる動きの発信にも力を入れます。それが、県民が前を向いて進むための力を生み出し、外に向けては風評被害の払拭につながるものと信じます。今、会社として全力を挙げて取り組んでいるのは、地方創世にも関わることですが、県内にある産業や自然、人材など、優れた資源に光を当て、生かしながら県内を元気にする動きをつくって



こうということです。皆様と協力しながら、紙面を通じて、各種事業を通じて輝く未来をつくっていきたく考えています。宜しくお願ひ致します。高橋会長より、御礼をお渡ししました。

## 今月・来月のプログラム

- 3月18日(水) ゲストスピーチ AEFA 宍戸仙助氏、IM 報告
- 3月25日(水) 創立記念例会(夜間)
- 4月1日(水) 誕生祝い、ロータリーの友読みどころ、ゲストスピーチ、戦略計画委員会報告
- 4月8日(水) ゲストスピーチ
- 4月15日(水) 家族観桜会(東京麹町RC合同夜間例会)
- 4月22日(水) 東京麹町RCとの協同事業報告  
職業奉仕セミナー報告、ゲストスピーチ
- 4月29日(水) 法定休日

## ※ 地区情報

- 3/14 東北第一分区 IM(二本松あだたらRCホスト)
- 3/21~22 第27回全国ロータリー研修会